

タイ・ランプーン PAO で講演

5月18日にタイのランプーン PAO (Lamphun Provincial Administrative Organization) で、同 PAO の自治能力向上に協力しているスコートタイ・タマティラート大学の地方自治センター長から依頼があり、クレアシンガポール事務所の鍋岡次長が「地方経済の発展のための地方自治体の役割」と題した講演を行いました。

1 ランプーン PAO はどんなところ？

タイ北部のチェンマイ近郊に位置し、面積約 4,500 km²、人口約 40 万人、特産品として手織りの綿製品が有名です。



手織り並ぶ織維会館

2 ニーズにあったプレゼン

ランプーン PAO では、伝統産業である手織り綿製品産業をどのようにして維持していくかが課題となっています。そのため「京都の伝統的な着物や焼き物等を現代のスタイルに合わせて変化させ、新しい付加価値を生み出している事例がある。」と説明が行われた場面では、職員は非常に興味深そうに耳を傾けていました。



PAO 庁舎内の会議室にて講演

また、京都府が地域の文化・観光資源を生かして広域的な観光ブランドとして推進している「お茶の京都」、「海の京都」、「森の京都」の説明の場面では、ランプー

ン県自治体長は非常に興味をもたれました。さらにクリアで実施した「自治体国際協力専門家派遣事業」の観光振興の専門家派遣の事例を紹介したところ、観光振興の専門家派遣の受入れを真剣に検討したい旨の意見がありました。

自治体国際協力専門家派遣の詳細についてはこちら↓
<http://www.clair.or.jp/j/cooperation/special/index.html>

3 求められている日本の地方自治体のノウハウ

このようにクリアシンガポール事務所が所管する ASEAN 及びインドでは、日本の地方自治体もつ行政のノウハウや先進事例が求められています。

クリアシンガポール事務所では、国際交流につながるよう今後もこれらのニーズを的確にとらえ、日本及び海外の地方自治体へ情報発信していきたいと考えています。

(鍋岡次長 京都府派遣)

(梅澤所長補佐 長崎県長崎市派遣)

(石井所長補佐 東京都大田区派遣)

